飯豊山系渓流環境整備計画

原始の山系、いいで・あさひのふところで、いのちはぐくむ渓流づくり

ブナ林の冬

紅葉の朝日連峰

玉川上流の渓畔林

飯豊山系はたくさんのいのちの揺りかごです

イワナやヤマメが躍る飯豊・朝日山系の渓流は、大切にしたい自然の宝庫です。

いで湯や飯盛を形容するといわれる飯豊山。この飯豊山と小国盆地のある荒川をはさんで向かい合う大朝日岳。山に抱かれたこの地域には、「自然の宝庫」と呼ぶにふさわしい豊かなブナ林が広がり、たくさんの生き物たちが生息しています。

また、これらの源流部は磐梯朝日国立公園、胎内二王子県立自然公園に属し、原始景観を残す日本屈指の山岳地帯でもあります。急峻な山々から生まれる流れは荒川、胎内川および加治川の３水系となって、日本海に注いでいます。

荒川は大朝日岳に源を発し、玉川や大石川など多くの支流を集めて日本海に注ぐ一級河川。上流域には豊かな自然が広がっています。胎内川は飯豊山系の山々に源を発し、上流部に良好な渓谷林を形成する二級河川です。また、同じく飯豊山系を水源とする二級河川の加治川は、坂井川、姫田川などの支流を集め、下流域には水田地帯が広がります。

レンゲツツジ

イイデリンドウ

カジカ

クマタカ

ヤマセミ

イワナ

カジカガエル

ツキノワグマ

豊かな自然に太古の歴史が息づいています

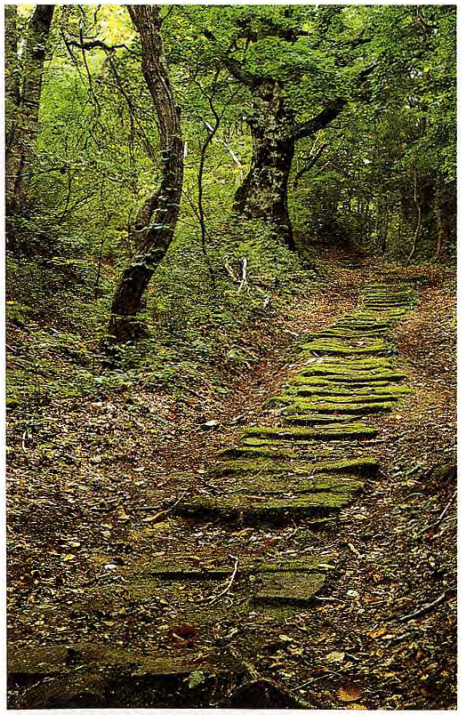
奥胎内の壮大な滝の景観（新潟県黒川村）

管内の渓流沿いには、滝や釣り場、紅葉の美しい場所がたくさんあります。登山道を歩けば、豊かな生き物や緑とふれあうことができます。このすばらしい自然は、私たちに安らぎを与えてくれます。

また、この地域には、縄文時代から人々が住み、古くから人や文化、物資の交流地点となっていました。「塩の道」や「マタギ文化」など、独特の文化が生み出され、今日まで受け継がれています。

関川村の国指定重要文化財　渡辺邸

小国町　熊まつり



黒沢峠付近に残る旧街道の石畳（山形県小国町）

荒川　関川村狭口付近の羽越災害時の様子

自然は、時に厳しい表情を私たちに向けます

日本海と向かい合って連なる、飯豊の山々。日本海で発生した雲は、山々にぶつかって管内にたくさんの雨や雪を降らせます。管内は日本有数の豪雪地帯であるとともに、夏季の降水量も多い地域です。河川の上流部は急な地形で崩れやすい地質を持つため、異常降雨などが起きると、土砂流出の可能性は高くなります。昭和42年に起きた羽越災害では、記録的な集中豪雨により土石流や洪水が発生し、大きな被害をもたらしました。

流木の山となった小国大橋

集中豪雨による被害が多く発生しています。

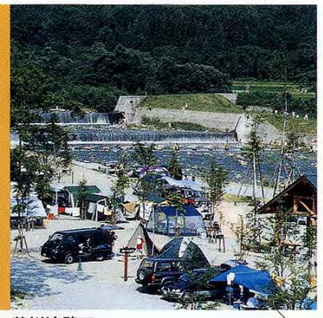
過去の主な災害

年月日	災害名	原因	死者・行方不明者	被害家屋
昭和39.7.7	7.7水害	梅雨前線		浸水 312
41.7.17	7.17水害	梅雨前線	死者3名 負傷者168名	全壊 40 半壊 123 浸水10,114
42.8.28	羽越災害	前線	死者81名 負傷者321名 行方不明16名	全壊 907 半壊 2,156 浸水15,406 一部損壊147
45.7.17	45.7水害	梅雨前線		浸水 30
45.8.18	8.18水害	前線		浸水 1,470
46.6.28	46.6水害	梅雨前線		浸水 3,548
48.6.23	48.6.3 集中豪雨	梅雨前線	負傷者1名	浸水 60
51.8.6				浸水 13
53.6.26	6.26梅雨	梅雨前線		一部損壊 1 浸水 1,479
53.6.22	前線による豪雨	前線		浸水 3
56.8.23	台風15号 豪雨	台風	負傷者1名	一部損壊 2 浸水 1
59.7.11	集中豪雨	梅雨前線		

さまざまな自然・社会環境に配慮した砂防を今後さらに進めていきます

飯豊山系・朝日山系にはすばらしい自然が残されています。その一方で、上流域の地質がもろいため、土砂が流出する可能性が高く、これまでにも大きな災害が発生しています。

そこで、流域のさまざまな環境特性を十分に理解し、安心して生活できる場所を確保しながら、自然環境をよりよい状態に保ち、人と自然になじんだ渓流整備（渓流づくり）をすすめます。



里山ゾーン

荒川流路工

テーマ

「目指します。安全・安心の里、自然のある里、夢の里」
「カジカすむ豊かな流れ、人と自然のふれあう里」

基本理念

- 安全な生活空間を整備し、歴史と伝承の地を守る。
- 人々の集う、活力ある交流空間として渓流を整備する。
- 里山の環境と景観を保全する。

朝日山系ゾーン

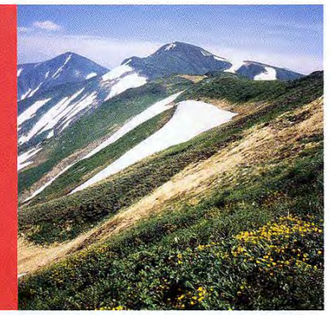
朝日・針生平の紅葉

テーマ

「残していこう。深雪の白い森、新緑のブナの林」
「渓流のせせらぎ、ブナの路、大自然あふれる朝日の山々」

基本理念

- 優れた自然環境を保全し、未来に継承する。



飯豊山系ゾーン

飯豊連峰

テーマ

「残していこう。自然の息吹き、飯豊の山々」
「子どもたちに残そう。飯豊・二王子の大自然」

基本理念

- 優れた自然環境を保全し、未来に継承する。

山系・山ろく自然ゾーン

女川中流

テーマ

「守っていこう。自然と共存する安全な郷」
「子孫に残そう。人と自然がふれあう、学びの空間」

基本理念

- 自然環境と砂防事業の共生・調和をはかる。
- 自然とのふれあい、学びの場を創出する。

新しい渓流づくりは、このように進めます。

飯豊山系の自然や地域について調べ、同じような環境を持った地域を「ゾーン」として区分けしました。

それぞれの「ゾーン」に対して、さらにきめ細かく整備方針を決めて砂防事業を進めていきます。

新しい環境整備の手法が生まれています

登山者の多い地域では、登山道を整備して現状を維持するとともに、周辺景観に配慮して岩盤を利用した滝風砂防ダムなどを計画しています。また、魚類の移動を妨げないように魚道を設置していきます。

身近な渓流では、渓流の親しみやすさを維持するとともに、できるだけ自然の岸を活かし、安全に自然とふれあえる場を創出していきます。砂防ダムには自然石などを利用して、景観に配慮した砂防設備としていきます。

国土交通省北陸地方整備局
飯豊山系砂防工事事務所

平成10年11月

〒999－1363
山形県西置賜郡
小国町大字小国小坂町3－48
TEL 0238-62-2566（代）

表紙写真・初秋の横川